



# エキノコックス症を予防するために

## エキノコックス症って何？ どんな症状が出るの？

エキノコックスという寄生虫が主に肝臓に寄生して起こる病気です。自覚症状が出るまでに数年から十数年かかります。無症状で発見される事もありますが、病気が進行すると肝臓の機能障害に伴う症状(おなかの不快感、膨満感、疲れやすさ、黄疸など)が現れます

## どのように感染するの？

エキノコックスの卵がヒトの口から体内に入り感染します。エキノコックスが寄生したキツネや犬などのフンに直接触ったり、フンに汚染された山菜や沢水などを口にするとう感染する可能性があります。ヒトからヒトに直接感染することはありません。

## 治療法は？

薬による治療もありますが、根治的な治療は手術で病巣を切除することです。早期発見・治療のためエキノコックス検診を受けましょう

検査の予約は  
こちらです



**エキノコックス症検診 ※旭川市保健所健康推進課(25-9848)への予約が必要です。**

●対象：小学校3年生以上の旭川市民

●検査方法：血液検査(無料)

北海道におけるエキノコックス症新規報告数 (R3年2月1日現在)

	H29年	H30年	R元年	R2年
旭川	3	0	0	3
全道	28	18	25	22

北海道感染症情報センター

※北海道におけるキツネの  
エキノコックス感染率  
40.5%(令和元年度調査)

# 予防

犬もエキノコックスの幼虫が寄生した野ねずみを食べるとキツネと同じように成虫が寄生することがあります

## 個人でできる対策

## 地域でキツネを近づかせない対策



帰宅後や犬に触れた後などは、流水と石けんで十分に手を洗う



エキノコックスの卵は熱に弱い(100℃1分の加熱で死滅)ため山菜、野菜、果実などは十分に加熱する



家の周りに、エサになる生ゴミなどを置かないようにしたりゴミステーションを管理する

山菜や野菜、果実などは、よく洗ってから食べる



キツネにエサを与えたり、触らないようにする。外飼いの犬などのエサは放置しない



物置などはキツネに侵入されないよう、しっかりと戸締まりを行う



キツネは「鳥獣保護管理法」により野生動物として保護の対象となっており、原則駆除を行う事ができません。個人でできる対策と共に地域でキツネを近づかせない対策を取ることが重要です

●エキノコックス症検診や感染症については 健康推進課 ☎25-9848